



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第33号

(H28/2/10)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

1月中旬ごろからの急な寒さや雪でようやく冬らしさが出てきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？



12月が暖冬だった影響もあり守山市の第1なぎさ公園の菜の花畑では菜の花の見ごろが1ヶ月も早かったようで、先月20日の雪で菜の花の茎が折れてしまっているようです。(京都新聞より)
例年ならカンザキナバナという名前の早咲きの菜の花が約12,000本ほど咲き、雪の残る比良山とのコントラストが美しいようです。見頃は1月下旬～2月上旬頃です。

第42回ワーキング会議(1/28)

草津市立まちづくりセンター



今年最初のワーキンググループ会議は初参加5名を含む25名で行いました。

【在宅療養を支える栄養士の役割】



○在宅での栄養士の役割の話を聞いて、どう感じましたか？

高齢者の低栄養、たんぱく質が足りないといくら運動しても効果ない。
正しい栄養識が必要。ケアマネを通じて栄養士が介入する必要がある。



栄養士へ繋ぐ方法、診療所との雇用関係は？

在宅の栄養指導が保険点数に組み込まれていることを知らなかった。

病院では栄養指導をしてもらっても自宅に帰ると関係が切れてしまう。
病院栄養士と在宅での栄養士がつながる必要がある。



栄養士のアクションの使い方がよくわからない。



在宅でどのようなタイミングで栄養指導にはいつもらえるのかがわからない。



○在宅で栄養士さんにどのように関わってほしいと思いますか。栄養士とつながることで
どんなことができるようになると思いますか



在宅での栄養士の役割をもっとピーアールすべき。

スキル不足もあって活用できていないので栄養士教育が必要。

予防医療として、健康教室を開催するとき、栄養士も参加を。健康寿命延伸のため筋力をつけたいという市民のニーズともつながる取組になる。

訪問看護ステーションならぬ全国初の訪問管理栄養士ステーションをつくるのは？

介護サービスのひとつであること、在宅に来てもらえることを県民に広く伝えるべき。

キーパーソンとなるケアマネジャーに、栄養士の活用方法を理解してもらう。

栄養指導でうまくいった例をだしてアピールしてほしい。

食育も大事。健康な時から地域で食の大切さを学べる取組を。



次第



- ☆あいさつ・報告・連絡事項
- ☆「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」
27年度の活動について
- ☆話題提供・意見交換
「在宅療養を支える栄養士の役割」
千田 素子さん(大津市 管理栄養士)

栄養管理は大切ですが、在宅で栄養士がどのようなことをしているのか、具体的にイメージしようとするとなかなか難しいのではないのでしょうか

今回は、管理栄養士の千田素子さんに、在宅での栄養士の役割(訪問栄養食事指導)について話題提供していただき、多職種で在宅療養を支えるしくみについて、考える機会になりました。



次回のワーキンググループ会議

2月19日(金) 18:30~
滋賀県庁 5A会議室
「在宅療養と訪問鍼灸・
マッサージ」



今後のワーキンググループ会議の予定

3月22日(火) 18:30~
滋賀県庁 5A会議室
「地域包括支援について」

会員募集中!!!



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議
運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 笹山・橋本
TEL:077-528-3581
FAX:077-528-4851
E-mail:info@chikisouzoukaigi-shiga.jp